

J-クレジット制度
排出削減プロジェクト・
森林管理プロジェクト
妥当性確認報告書

プロジェクトの名称：

津山市 J-クレジット制度活用事業

妥当性確認 機関名	SGS ジャパン株式会社
--------------	--------------

発行日 2014 年 3 月 24 日

1 妥当性確認機関の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

※ 「判断の根拠」に関する項目については、根拠としたプロジェクト計画書等の章番号、該当頁等を記載するとともにその妥当性について記載すること。(以下、本文書を通じて同様)

機関名称	SGS ジャパン株式会社 認証サービス事業部
担当部署名	森林認証部
プロジェクトの関係者との利害 抵触	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
判断の根拠	当社規定に基づき、利害の抵触に関する分析及び当該案件のリスク分析を実施し、プロジェクトの関係者との利害抵触は無いと判断した。

2 プロジェクト実施者の情報

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

プロジェクト代表実施者 ※プログラム型プロジェクトの場合、「プログラム型運営・管理者」を記載すること。	津山市
プロジェクト実施者（代表者以外） ※プログラム型プロジェクトの場合、「削減活動の実施者」を記載すること。	N/A
低炭素社会実行計画への参加実態 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし
温対法特定排出者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし
省エネ法報告対象者 ※すべてのプロジェクト実施者についてプロジェクト計画書の記載内容と実態が整合しているかを確認すること	<input checked="" type="checkbox"/> 整合している <input type="checkbox"/> 整合していない <input type="checkbox"/> 該当なし

3 妥当性確認結果（総括）

※ 本項目は、J-クレジット制度認証委員会資料として使用されます。

妥当性確認実施期間		<input type="checkbox"/> プロジェクトの実施前 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの実施後
プロジェクト名		津山市 J-クレジット制度活用事業
認証予定期間 ※実施要綱に定められた 認証対象期間内に設定 されていることを確認 して記載すること。		2013年4月1日～2021年3月31日（8年0ヶ月）
適用方法論	方法論番号	FO-001 Ver.2.0
	方法論名称	森林経営活動
想定排出削減量・想定吸収量	認証予定期間の合計値	7,939 t-CO ₂
プロジェクト実施者と合意した妥当性確認の前提	妥当性確認の基準 ※適用した制度書類のバージョンを記載すること	文書名：実施要綱 Ver. 2.0 文書名：実施規程（プロジェクト実施者向け） Ver. 2.0 文書名：実施規程（審査機関向け） Ver. 1.1 文書名：モニタリング・算定規程（森林管理プロジェクト用） Ver. 2.0
	目的 ※プロジェクトの実施によって、プロジェクト計画書に記載された削減量・吸収量が実際に生じる見込みに対する評価を行うことも目的に含めて記載すること	本妥当性確認業務は、岡山県津山市のプロジェクトである「津山市 J-クレジット制度活用事業」のプロジェクト計画書が、上記の J-クレジット制度の基準へ準拠していることを確認し、及び、プロジェクト計画書に記載された吸収量が実際に生じる見込みであることを評価し、認証委員会に妥当性確認意見を表明する目的にて実施された。

	<p>範囲 ※妥当性確認の範囲がプロジェクト計画書の範囲であることを記載すること</p>	<p>本妥当性確認業務は以下の範囲に対し実施された。</p> <p>a) プロジェクトのバウンダリー及びベースライン・シナリオ</p> <p>岡山県津山市に位置する津山市が所有し管理する森林にて実施される J-クレジットプロジェクト森林経営活動を対象として妥当性確認を実施した。</p> <p>当プロジェクト対象林分をカバーする、津山市の本森林経営計画の下に管理する森林の面積は2,680.77ha、うちプロジェクト対象林分（間伐対象林分）はスギ、ヒノキの人工林151.30haとなっている。</p> <p>（対象森林の詳細は、プロジェクト計画書を参照。）</p> <p>プロジェクトのベースライン・シナリオは方法論 F0-001 に従い、吸収量ゼロとして設定されていることを確認した。</p> <p>b) プロジェクトの物質的インフラ、活動、技術及びプロセス</p> <p>上記 a) 項の対象森林において、間伐木の選定は林分構成の適正化を図るよう形質不良木等に偏ることなく行う定性間伐を基本とし、対象林分を管理している。間伐率は概ね 30%（本数比率）である。</p> <p>c) GHG 排出源及び／又は吸収源</p> <p>上記 a) 項を参照。又、より詳細には、別添プロジェクト計画書最終版を参照。</p> <p>d) GHG の種類</p> <p>妥当性確認の対象となる GHG は CO₂ のみである。</p> <p>e) 対象期間</p> <p>認証予定期間：2013 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日（8 年間）を対象として妥当性確認を行った。</p>
	<p>保証水準 ※妥当性確認の結論を意見として表明する際に採用した水準を記載すること</p>	<p>本妥当性確認業務は、合理的保証業務として実施された。</p>
<p>妥当性確認手続 ※現地審査の実施有無について記載すること ※また、実際に実施した手続、スケジュールについて、サンプリング手法も含めて記載すること</p>		<p><input type="checkbox"/> 現地審査を実施した（ 年 月 日に訪問）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> サンプリングで現地審査を実施した（2014 年 3 月 11 日に訪問）</p> <p><input type="checkbox"/> 現地審査を実施していない</p>

プロジェクト計画書のレビュー及びリスク評価により妥当性確認計画及び妥当性確認方法について以下のように決定した。

プロジェクト計画書に記述されたプロジェクト内容が、基準に準拠しているかの観点にて、関連資料の文書レビューを行う。また、モニタリング体制、モニタリングデータの収集・記録・保管については、特定された各要員に対してインタビューを実施することにより、文書に規定された内容と実態が乖離していないことを確認する。プロジェクト計画書に記述された吸収量については、計算の前提となる活動量、吸収係数については、添付された森林経営計画書との整合も含めて全数を確認する。現地踏査では、モニタリングエリアのサンプリング訪問を実施し、森林経営計画書との現地林況の乖離、計画されているモニタリング手順の妥当性を判断することとした。

上記の検討された妥当性確認方法に基づき、妥当性確認プロセスは以下のスケジュールにて実施された。

＜妥当性確認プロセスのスケジュール＞

2014年3月7～ 3月9日	リスク評価、妥当性確認計画の策定及び文書レビュー
2014年3月11日	現地審査 / プロジェクト対象地のサンプリング訪問 文書審査 / プロジェクト事業者事務所訪問
2014年3月14日～ 3月20日	再提出されたプロジェクト計画書及び付属文書のレビュー及び審査所見の解決
2014年3月24日	SGS ジャパン(株) テクニカルレビュー
2014年3月24日	テクニカルレビューでの所見の解決及び最終版妥当性確認報告書の発行

修正・指摘事項及び解決方法

※4 における結果を総括し、排出削減量又は吸収量に影響を与える可能性のある、主な指摘事項について記載すること

妥当性確認プロセスにおいて、以下の所見（「是正処置要求」及び「新しい情報に関する要求」）が提起された。

是正処置要求 (CAR)：妥当性確認基準に対する不適合であり、妥当性確認プロセスにおいて是正処置の完了が求められる内容。

新しい情報に関する要求 (NIR)：妥当性確認のために必要な情報が不足している場合に新規に情報提出を要求する内容。提出された情報の内容により、新規の CAR が提起されることがある。

番号	是正処置要求：CAR
	該当なし。
番号	新しい情報に関する要求：NIR

	1	内容： プロジェクト計画書 1.1 項-において、特定排出者コード、及び省エネ法特定事業者又は特定連鎖化事業者番号を照合できる資料（情報）の提供をお願いする。
		完了の記録： プロジェクト計画書 1.1 項-において、特定排出者コード、及び省エネ法特定事業者又は特定連鎖化事業者番号を照合できる資料（排出者コードの証明.pdf）を確認した。
	2	内容： プロジェクト計画書-2.2 項-に関連して、津山市森林整備計画の提示をお願いする。
		完了の記録： プロジェクト計画書-2.2 項-に関連して、津山市森林整備計画を確認した。
		検証記録：津山市森林整備計画書.pdf
	3	内容： プロジェクト計画書-3.2 項-に関連して、条件 1 への適合について確認できる資料として、該当する地域森林計画の提示をお願いする。
		完了の記録： プロジェクト計画書-3.2 項-に関連して、条件 1 への適合を確認できる資料が提示され、該当する地域森林計画が吉井川森林計画区であることを確認した。
		検証記録：岡山県森林計画区域図.pdf
	4	内容： モニタリング作業を外部へ委託する計画であることを確認した。
		プロジェクト計画書-5.2 項-において、業務委託先との業務分担について整理し、明記することをお願いする。
		完了の記録： プロジェクト計画書-5.2 項-において、業務委託先との業務分担について整理され、体制図等に明記されたことを確認した。
	5	内容： プロジェクト計画書-6 項-に関し、インタビューにて吸収量に影響を与える可能性のあるリスクが存在することを確認した。その内容について、リスク要因として明記することをお願いする。
		完了の記録： プロジェクト計画書-6 項-において、吸収量に影響を与える可能性のあるリスクが確認され、リスク要因として明記されたことを確認した。

		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="550 123 635 349">6</td> <td data-bbox="635 123 1370 349"> <p>内容：</p> <p>プロジェクト計画書別紙-A.3項-において、実際に使用される機器は外部委託先所有のものを使用する予定であることを明記し、また使用が予定される計量機器の名称を追記することを願います。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="550 349 635 495"></td> <td data-bbox="635 349 1370 495"> <p>完了の記録：</p> <p>プロジェクト計画書別紙-A.3項-において、実際に使用される機器は外部委託先所有のものを使用すること、また使用が想定される計量機器の名称が明記されたことを確認した。</p> </td> </tr> </table>	6	<p>内容：</p> <p>プロジェクト計画書別紙-A.3項-において、実際に使用される機器は外部委託先所有のものを使用する予定であることを明記し、また使用が予定される計量機器の名称を追記することを願います。</p>		<p>完了の記録：</p> <p>プロジェクト計画書別紙-A.3項-において、実際に使用される機器は外部委託先所有のものを使用すること、また使用が想定される計量機器の名称が明記されたことを確認した。</p>	
6	<p>内容：</p> <p>プロジェクト計画書別紙-A.3項-において、実際に使用される機器は外部委託先所有のものを使用する予定であることを明記し、また使用が予定される計量機器の名称を追記することを願います。</p>						
	<p>完了の記録：</p> <p>プロジェクト計画書別紙-A.3項-において、実際に使用される機器は外部委託先所有のものを使用すること、また使用が想定される計量機器の名称が明記されたことを確認した。</p>						
		<p>確認事項の解決</p> <p>妥当性確認プロセスにおいて特定された指摘事項に対する是正処置が全て完了しており、対応が適切であったことを確認した。</p>					
妥当性確認結果	確認結果	<input checked="" type="checkbox"/> 無限定適正 <input type="checkbox"/> 不適正 <input type="checkbox"/> 意見不表明					
	意見・結論 ※4における結果を総括し、確認結果における意見の理由を記載すること	<p>プロジェクト計画書及び付属文書に示されたプロジェクトは、J-クレジット制度実施規程、J-クレジット制度実施要綱、モニタリング・算定規程、方法論 FO-001 に依拠して作成されており、全ての重要な点に関して適正であり、妥当であると判断した。</p> <p>最終版のモニタリング計画書に記載されている吸収量は修正されたデータに基づき算定されており、重要性の判断基準である5%未満であることを確認した。</p> <p>以上より、本プロジェクトに対しJ-クレジット認証運営委員会による登録を行うこと推奨する。</p>					